

2022年度

# 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル

## 受講者募集要項

▼教育理念▼

Saluti et Solatio Aegrorum (病める人々を医やすばかりでなく慰めるために) の教育理念に基づき、保健医療福祉分野における質の高い医療サービスを提供するため、豊かな人間性、倫理観と最良の適応力と創造性を兼ね備えた看護管理者を育成し、日本の地域医療の質向上に貢献する。



藍野大学

キャリア開発・研究センター

公益社団法人 日本看護協会  
認定看護管理者教育機関 (セカンドレベル教育課程) 認定

## 2022年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 受講者募集要項

### 【 教育目的 】

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

### 【 到達目標 】

1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

### 【 カリキュラム 】

教科目名	内 容
ヘルスケア システム論Ⅱ (15時間) 【講義】	1) 社会保障の現状と課題 日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化、社会保障費の(財源)構造と推移 保健医療政策の現状と動向 2) 保健医療福祉サービスの現状と課題 保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等 3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携 多職種によるチームケア提供の実際と課題
組織管理論Ⅱ (30時間) 【講義・演習】	1) 組織マネジメントの実際 組織構造と機能／組織化の方法／組織文化とは／組織文化のマネジメント／変革理論と組織の変革／組織の意思決定／組織分析／組織の評価方法／組織の経営戦略 2) 看護管理における倫理 看護実践 医療における倫理／看護管理における倫理的課題／看護管理における倫理的 意思決定
人材管理Ⅱ (45時間) 【講義・演習】	1) 人事・労務管理 人員配置／能力評価／勤務計画／タイムマネジメント／ワークライフバランスの推進／ ストレスマネジメント／ハラスメント予防策と対応／労働災害とその対策／労務管理に 関する今日的課題 2) 多職種チームのマネジメント 人的資源の活用／看護補助者の育成／リーダーシップの実際／コンフリクトマネジメント 3) 人材を育てるマネジメント キャリア開発支援／人材育成計画／動機づけ理論の活用
資源管理Ⅱ (15時間) 【講義】	1) 経営資源と管理の実際 医業収支／経営指標の活用／費用対効果／適切な療養環境の整備 2) 看護管理における情報管理 看護の評価・改善のための情報活用

<b>質管理Ⅱ</b> <b>(30時間)</b> <b>【講義・演習】</b>	1) 看護サービスの質保証 クオリティマネジメント 医療の質とは/医療安全の原理/事故発生時のアセスメント・対応 医療・看護におけるクオリティマネジメント 質管理のための研究の活用、質の評価/看護サービスの質保証 2) 安全管理 安全管理の実際/安全管理教育/法令遵守/災害対策
<b>統合演習Ⅱ</b> <b>(45時間)</b> <b>【演習・実習】</b>	1) 演習 自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する 2) 実習 地域連携を理解するための他施設実習を行う

※上記に加え、開講初日にオリエンテーションを行う。

## 【募集内容】

### 1. 開講期間および募集定員・出願期間等

<b>講義形態</b>	<b>分散型 週3日制</b>
<b>開講期間</b>	2022年7月16日(土)～2022年10月8日(土) 期間中の 木曜日・金曜日・土曜日 ※講師の都合等により、期間内の他曜日の開講もあり得ます。 ※統合演習Ⅱの実習は、実習先により期間内の他曜日に行うこともあり得ます。 ※8/19(金)・20(土)は休講予定。
	各教科目において設定されている全講義が終了次第、教科目ごとに試験・再試験を実施致します。 12月上旬頃に修了判定を行い、修了者については修了証書を12月中旬までに郵送致します。
<b>講義時間</b>	(午前) 9:30～12:30 (午後) 13:30～16:30 ※昼休憩 12:30～13:30
<b>講義場所</b>	<b>藍野大学 Medical Learning Commons 4階 講義室</b>
<b>募集定員</b>	<b>35名</b>
<b>出願期間</b>	<b>2022年5月6日(金)～2022年5月17日(火) 15:00必着</b>
<b>備考</b>	社会情勢により、一部遠隔授業を実施する可能性があります

### 2. 受講資格

次の①～④全ての要件を満たす者(項目③は③-1又は③-2いずれかで良い)

- ① 日本国の看護師免許を有する者
- ② 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者
- ③-1 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者
- ③-2 看護部長相当の職位にある者又は副看護部長相当\*の職位に1年以上就いている者  
 ※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す
- ④ 大学入学資格を有する者(看護師免許を有している方は、これに該当します)  
 \*上記要件④は、本課程が職業実践力育成プログラムの認定を受けているために記載しています

### 3. 受講料

220,000円 【修了判定料及び証書料含む】

※ 参考書等については、ご自身でご用意下さい。参考図書のリストについては、受講手続き完了者に対して別途ご案内致します。

### 4. 出願書類

出願には、以下の書類が必要となります。なお、指定様式(様式1)(様式2)(様式3)については、本募集要項と同様に「キャリア開発・研究センター」のホームページ( <http://cdr.aino.ac.jp> )よりダウンロードし、必要事項を記入してください。

手書きで作成する場合は黒のボールペンを使用し(フリクション等は不可)、パソコンで作成する場合は白黒印刷でプリントアウトして下さい。

#### 1) 受講申込書(様式1)

#### 2) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了証書の写し<受講資格③-1該当者のみ>

#### 3) 勤務証明書(様式2) <受講資格③-1該当者は提出不要>

※ 受講資格②及び③-2を満たしていることが証明できるよう作成すること。

※ 複数の勤務先での経験を合算することで要件を満たす場合は、それぞれの勤務先ごとに証明書を作成すること。

#### 4) 小論文(様式3)

課題: 「自部署(部門)の現状分析をして問題を明らかにし、あなたが取り組むべき看護管理上の課題について具体的に述べよ」

タイトル: 上記の課題に見合ったタイトルを付けること

形式: ワードプロ、横書き、明朝体、10.5pt (手書き不可)

字数: 本文字数1,200字以内、本文の最後に(文字数)を記入すること

※ 引用・参考文献は本文字数には含めない

※ 受講者選考は、受講申込者の施設名及び氏名を伏せた状態で行うため、小論文の文中にはそれらの情報を記載しないよう注意すること

#### 5) 看護師免許証の写し(合否通知時に返却)

A4サイズに縮小し、裏面に記載がある場合は両面コピーすること。

#### 6) 返信用封筒(角形2号) (受講者選考結果通知書の送付用)

受講申込者個人の郵便番号・住所・氏名を明記し、【簡易書留郵便】460円分の切手を貼付。

### 5. 出願方法

上記の出願書類一式を角形2号封筒に入れ、下記宛に【簡易書留郵便】で郵送してください。(出願期間内必着)

## 出願書類送付先

〒567-0012 大阪府茨木市東太田 4-5-4  
藍野大学 キャリア開発・研究センター  
認定看護管理者教育課程 事務係

- ※ 朱書きで「**2022年度セカンドレベル受講申込書類**在中」と明記すること。
- ※ 出願書類に不備がある場合は無効となり、受付できませんのでご注意ください。
- ※ 原則として一旦受理した出願書類は返却いたしません。

## 6. 受講者選考方法

「認定看護管理者教育課程教育運営委員会」にて、提出書類審査および小論文にて選考を行い、受講者の決定をいたします。

- ※ 選考基準、小論文の評価基準についてはP.7を参照ください。

## 7. 選考結果通知

受講者選考の**合否結果**については、6月上旬頃に**受講申込者個人宛**に文書で通知いたします。

- ※ 合格者には、受講手続きや教育訓練給付制度のご案内も合わせて送付いたします。

## 8. 受講手続き（受講料振込み）について

合格者は、受講手続きの案内に沿って受講料を振込んでください。

納入期限 2022年6月17日（金） ※予定

- ※ 受講料の振込先等の詳細は、**選考結果通知書（合否通知書）**に記載いたします。
- ※ 受講料の納入をもって受講手続きの完了となります。
- ※ 一旦納入された受講料は原則として返還いたしません。

## 9. 受講許可通知

**受講手続き完了者**に、受講許可書を6月中旬頃に**受講申込者個人宛**に文書で通知いたします。

- ※ 時間割、学習の手引き等の必要書類も併せて送付いたします。
- ※ 受講手続き完了者には、受講者証作成のため、顔写真を提出して頂きます。  
詳しくは、書面にて別途ご案内致します。

## 【スキルアップ研修について】

教科目課題レポート作成の際の参考として、以下の研修を受けておくことを推奨いたします。ただし、この講座への出席の有無は、直接選考の合否には影響致しません。講座の詳細や申込方法は、藍野大学キャリア開発・研究センターのWebサイトよりご確認ください。

<日程>2022年7月23日（土）（7月15日（金）申込締切）

9：30～12：30 講座①「どう書く？小論文・課題レポート」

講師： 京都大学大学院 医学研究科 教授 任 和子先生

13：30～16：30 講座②「どう使う？問題解決フレームワーク」

講師： ベルランド総合病院 看護部長 前原 陽子先生

## 【教育課程修了要件】

### 1. 教科目および時間数

教科目	時間数
ヘルスケアシステム論Ⅱ	15
組織管理論Ⅱ	30
人材管理Ⅱ	45
資源管理Ⅱ	15
質管理Ⅱ	30
統合演習Ⅱ	45
合 計	180

### 2. 修了要件

教育課程を修了するには、カリキュラムで定められている全ての教科目において合格することが必要です。

合格基準は、教科目ごとに実施される筆記又は課題レポートによる試験において、C以上の評価を得ていることとします。

【成績評価】 A(100～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)の4段階で評価

※試験で不合格(D)となった者は、1教科目につき1回に限り再試験を受けることができます。ただし、その教科目における成績評価の上限は60点とします。

※出席時間が教科目規定の4/5に満たない場合、試験(再試験含む)を受けることは出来ません。

### 3. 修了判定について

修了判定は、受講者の全教科目成績確定後、「認定看護管理者教育課程教育運営委員会」が行います。修了要件である、カリキュラムに規定された全ての教科目においての合格を満たしているかを確認します。今年度のセカンドレベルの修了判定は、12月初旬を予定しています。

### 4. 修了証書及び履修証明書の交付

本教育課程の修了者には、キャリア開発・研究センター長より「認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了証書」を交付いたします。

また、本教育課程は、学校教育法第105条で規定されている「履修証明制度」に基づき実施しています。修了者には、藍野大学学長より「履修証明書」も併せて交付いたします。(いずれも12月中旬までに郵送予定)

## 【その他】

### 1. 個人情報の取扱いについて

藍野大学では、個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報の保護に関する法律」及び「学校法人藍野大学個人情報管理規程」に基づき、厳正な取り扱いを行っております。

出願時及び受講開始後にご提出いただいた個人情報は、受講者選考及び教育運営の円滑な運用に必要な範囲内で適切に利用いたします。

取得した個人情報の教育課程運営業務の具体的な利用目的は下記の通りです。

- ・受講者選考業務に関する事
- ・受講手続き(受講料の納入)に関する事
- ・学習支援、指導に関する事
- ・図書館業務に関する事
- ・本学からの事務連絡、情報提供に関する事
- ・各種申請・届出手続きに関する事
- ・修了証書や各種証明書等の発行に関する事

- ・個人を特定しない統計処理に関すること
- ・上記に付帯する関連業務に関すること

ただし、本人の同意がある場合や法令の規定に基づく場合はこの限りではありません。

## 2. 通学について

キャンパスには、自家用車・オートバイを駐車・駐輪して頂けるスペースはございません。近隣に有料コインパーキングはありますが、スペースに限りがあります。

JR 摂津富田駅北口～藍野大学間を運行しておりますスクールバスをご利用ください。(無料)

## 3. 公開講座について

一部教科目の講義を、公開講座として一般の参加者を受け入れる予定です。予めご了承ください。公開講座のスケジュールについては、キャリア開発・研究センターのホームページ・シラバス(受講手続き完了者に送付します)をご覧ください。

なお、公開講座は下記のように実施します。

- ・受講者の授業の妨げとならないよう 聴講者の人数や座席等に配慮します。
- ・受講者と聴講者が合同で演習やディスカッション等を行うことはありません。
- ・受講者の個人情報の保護を厳守し、また学習の妨げとならぬよう、センターとして最大限の配慮に努めます。

## 4. 職業実践力育成プログラム(BP)について



**Brush up Program  
for professional**

本学の認定看護管理者教育課程セカンドレベルは、文部科学省の認定を受け、2019年度より職業実践力育成プログラム(BP)として実施することとなりました。これは、プログラムの受講を通じて社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを認定しているものです。

## 5. 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)について

本学の認定看護管理者教育課程セカンドレベルは、厚生労働省より教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練」として指定を受けています。(指定期間:2022年4月1日~2025年3月31日)

教育訓練給付制度とは、働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が、本学の認定看護管理者教育課程セカンドレベルを受講し修了した場合、本人が支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額(上限あり)が公共職業安定所(ハローワーク)から支給されます。

なお、過去に教育訓練給付金を受給したことがある場合、その時の受講開始日より前の被保険者だった期間は通算しません。このため、過去の受講開始日以降の支給要件期間が3年以上なければ、新たな資格が得られないこととなります。

この制度の概要や手続き方法に関しては、厚生労働省ホームページ及び最寄りの公共職業安定所でご確認ください。(受講開始日1ヶ月前までに、ご自身によるハローワークでの手続きが必要です。)

## ＜受講者選考基準＞

受講者の選考基準については次のとおりとする。

- (1) 受講資格を満たしていること。
- (2) 申込書類が完全であること。
- (3) 小論文の評価がC以上であること。

【小論文評価】 A(100～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) の4段階で評価

## ＜小論文（様式3）評価基準＞

※100点満点で評価する。

項目	評価の視点	配点
課題の理解	課題を正しく理解している	20
	小論文のタイトルが書かれている	
	自己のテーマがレポート課題に沿っている	
思考力	内容がテーマから外れていない	50
	自施設の現状・事実を数値等のデータを活用して客観的に述べている	
	理論や概念を用いて事実を分析している	
	自分自身の考えが明確に述べられている	
	具体性がある	
論述能力	論旨が一貫している	30
	文章が論理的に構成されている	
	適切な言葉・表現を用いている	
	誤字・脱字など表記に誤りがない	
	指定された様式・文字数である	
	引用・参考文献の取り扱いが適切である	





■お問い合わせ先

〒567-0012 大阪府茨木市東太田 4-5-4

藍野大学 キャリア開発・研究センター

認定看護管理者教育課程 事務係

TEL : 072-627-7878 FAX : 072-627-7997

URL : <http://cdr.aino.ac.jp>

E-mail : [cdr@kanri-u.aino.ac.jp](mailto:cdr@kanri-u.aino.ac.jp)